

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月11日

上場会社名 株式会社ハルテック

上場取引所 東大

コード番号 5916 URL <http://www.haltec.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 北垣 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 春本 修宏

TEL 03-5295-7613

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,742	2.1	48	△0.3	59	△19.8	54	△13.6
21年3月期第1四半期	2,685	—	48	—	73	—	62	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.49	—
21年3月期第1四半期	2.88	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	12,761	6,417	50.3	293.83
21年3月期	13,244	6,210	46.9	284.31

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,417百万円 21年3月期 6,210百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では平成22年3月期末の配当予想は未定であります。なお、平成22年3月期末の配当につきましては、引き続き厳しい事業環境の中、年間業績が明らかになった時点で、総合的に勘案して決定する予定としております。

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	5,500	2.3	30	131.2	50	30.8	30	65.5	1.37
通期	12,000	2.1	150	17.9	180	4.0	120	41.2	5.49

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	22,459,683株	21年3月期	22,459,683株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	617,186株	21年3月期	616,586株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	21,842,497株	21年3月期第1四半期	21,889,025株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)上記に予想した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における当社を取り巻く環境におきましては、経済危機対策として大型補正予算が成立しましたが公共事業の発注量は引き続き低調のまま推移し、価格面でも厳しい競争が続いております。

このような状況のもと、当社の第1四半期の受注高は、全体の発注量が第2四半期に集中し第1四半期は少なかったことに加え、和歌山工場の潤沢な生産山積みを考慮して受注活動に臨んだ結果、1億81百万円(すべて橋梁部門)にとどまりました。

完成工事高につきましては、27億42百万円となりました。内訳は、橋梁部門26億8百万円、鉄骨・鉄構部門1億33百万円であります。

この結果、当期末の受注残高は163億55百万円となりました。内訳は、橋梁部門162億84百万円、鉄骨・鉄構部門70百万円であります。

損益面につきましては、採算性のよい大型工事が順調に進捗し売上に計上できたため、営業利益が48百万円、経常利益が59百万円、四半期純利益が54百万円となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前事業年度末に比べ4億82百万円減少(3.6%減)し127億61百万円となりました。流動資産においては、手持ち工事が順調に進捗し未成工事支出金が3億7百万円増加しましたが、完成工事未収入金が10億86百万円減少したことなどにより6億84百万円減少しております。一方、固定資産においては、株価の回復傾向により投資有価証券が2億42百万円増加したことなどにより2億1百万円増加しております。

負債につきましては、前事業年度末に比べ6億90百万円減少(9.8%減)し63億43百万円となりました。流動負債においては、未成工事受入金が7億56百万円、支払手形が2億86百万円増加しましたが、短期借入金15億円を全額返済、また工事未払金が3億5百万円減少したことなどにより7億61百万円減少しております。一方、固定負債においては、株価の回復傾向による投資有価証券の増加に伴い繰延税金負債が89百万円増加したことなどにより71百万円増加しております。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ2億7百万円増加(3.3%増)し64億17百万円となりました。これは、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が54百万円増加したこと、またその他有価証券評価差額金が1億53百万円増加したことなどによるものです。

キャッシュ・フローにつきましては、当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ53百万円増加(前年同四半期は16億76百万円の資金増加)し33億9百万円となりました。これは営業活動によるキャッシュ・フローでは15億63百万円の資金増加(前年同四半期は26億21百万円の資金増加)、投資活動によるキャッシュ・フローでは9百万円の資金減少(前年同四半期は5百万円の資金増加)、財務活動によるキャッシュ・フローでは15億円の資金減少(前年同四半期は9億50百万円の資金減少)によるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間における資金の増減は、税引前四半期純利益は前年同四半期と同程度の57百万円となりましたが、売上債権の減少額が9億87百万円(前年同四半期は12億25百万円減少)となり、完成基準適用工事の進捗率が増加したため未成工事支出金が3億7百万円増加(前年同四半期は5億94百万円減少)したことが大きく影響し、前年同四半期に比べ資金の増加額が10億57百万円少なくなっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年同四半期は5百万円の資金増加となっておりますが、当第1四半期累計期間における資金の増減は、有形固定資産の取得による支出4百万円、無形固定資産の取得による支出5百万円などにより9百万円の資金減少となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期累計期間における資金の増減は、借入金の返済15億円(前年同四半期は9億50百万円返済)などにより、前年同四半期に比べ資金の減少額が5億50百万円拡大しております。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年5月19日に発表した予想を変更しておりません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しましては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ公正な評価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、事業年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ④ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準につきましては、従来、工期1年以上かつ契約金額2億円以上の工事のうち、出来高進捗率20%以上のものについて工事進行基準を適用し、その他の工事につきましては工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期会計期間より適用し、当第1四半期会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積は原価比例法)を、その他の工事につきましては工事完成基準を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

##### ② 表示方法の変更

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「無形固定資産の取得による支出」は「投資活動によるキャッシュ・フロー」における金額の割合が増加したため、当第1四半期累計期間より区分掲記することとしております。なお、前第1四半期累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「無形固定資産の取得による支出」は1,100千円であります。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,309,348	3,255,855
受取手形	269,057	169,969
完成工事未収入金	2,321,099	3,407,815
未成工事支出金	1,088,257	781,043
材料貯蔵品	17,193	16,474
その他	219,892	275,934
貸倒引当金	△3,890	△1,834
流動資産合計	7,220,958	7,905,260
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,158,354	1,174,445
土地	441,015	441,015
その他(純額)	473,110	477,540
有形固定資産合計	2,072,481	2,093,000
無形固定資産		
投資その他の資産	40,124	38,734
投資有価証券	1,234,410	992,049
関係会社株式	10,000	10,000
賃貸資産(純額)	2,050,715	2,068,556
その他	133,215	136,761
貸倒引当金	—	△6
投資その他の資産合計	3,428,342	3,207,360
固定資産合計	5,540,947	5,339,096
資産合計	12,761,906	13,244,356
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	2,474,080	2,187,654
工事未払金	1,088,330	1,393,372
短期借入金	—	1,500,000
未払法人税等	7,320	16,679
未成工事受入金	1,699,371	942,859
賞与引当金	37,941	77,598
工事損失引当金	100,193	99,862
その他	131,615	82,209
流動負債合計	5,538,853	6,300,236
固定負債		
繰延税金負債	124,621	35,588
退職給付引当金	633,611	640,294
その他	46,898	57,992
固定負債合計	805,131	733,874
負債合計	6,343,985	7,034,110

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,903,990	3,903,990
資本剰余金	1,478,512	1,478,512
利益剰余金	972,131	917,734
自己株式	△107,116	△107,065
株主資本合計	6,247,518	6,193,172
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	170,401	17,073
評価・換算差額等合計	170,401	17,073
純資産合計	6,417,920	6,210,245
負債純資産合計	12,761,906	13,244,356

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
完成工事高	2,685,032	2,742,150
完成工事原価	2,492,183	2,562,339
完成工事総利益	192,849	179,810
販売費及び一般管理費	144,083	131,197
営業利益	48,765	48,613
営業外収益		
受取利息	971	—
受取配当金	14,791	4,211
受取賃貸料	27,501	28,262
その他	8,224	4,645
営業外収益合計	51,488	37,119
営業外費用		
支払利息	1,441	1,646
賃貸費用	23,435	23,866
その他	1,478	961
営業外費用合計	26,355	26,475
経常利益	73,898	59,257
特別利益		
前期損益修正益	160	—
特別利益合計	160	—
特別損失		
固定資産廃棄損	—	910
ゴルフ会員権売却損	6,000	—
会員権評価損	—	950
関係会社事業損失引当金繰入額	2,083	—
特別損失合計	8,083	1,860
税引前四半期純利益	65,974	57,397
法人税、住民税及び事業税	3,000	3,000
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,000	3,000
四半期純利益	62,974	54,397

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	65,974	57,397
減価償却費	50,426	50,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△160	2,050
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,108	△39,656
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,765	△6,682
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△40,576	331
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	2,083	—
受取利息及び受取配当金	△15,762	△4,211
支払利息	1,441	1,646
有形固定資産廃棄損	—	910
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	6,000	—
会員権評価損	—	950
売上債権の増減額(△は増加)	1,225,919	987,628
未成工事支出金の増減額(△は増加)	594,066	△307,213
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,103	△718
仕入債務の増減額(△は減少)	△88,849	△18,616
未成工事受入金の増減額(△は減少)	690,356	756,511
未収消費税等の増減額(△は増加)	158,619	107,952
その他	△64,755	△12,697
小計	2,625,760	1,575,583
利息及び配当金の受取額	15,515	4,211
利息の支払額	△8,182	△4,139
法人税等の支払額	△11,826	△11,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,621,267	1,563,838
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
大阪工場売却による収入	23,802	—
大阪工場売却による支出	△53,074	—
有形固定資産の取得による支出	△19,833	△4,755
無形固定資産の取得による支出	—	△5,010
ゴルフ会員権の売却による収入	32,000	—
関係会社貸付金の回収による収入	10,000	—
その他	12,913	291
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,807	△9,474
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900,000	△1,500,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	—
リース債務の返済による支出	—	△819
配当金の支払額	△6	—
自己株式の取得による支出	△266	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△950,273	△1,500,870
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,676,802	53,493
現金及び現金同等物の期首残高	1,764,457	3,255,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,441,259	3,309,348



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報  
(受注及び販売の状況)

(1) 完成工事高

(単位：百万円、%)

区分	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		(参考) 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
鋼構造物	2,742	100.0	11,755	100.0
橋梁	2,608	95.1	11,449	97.4
鉄骨・鉄構	133	4.9	306	2.6
合計	2,742	100.0	11,755	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 受注高

(単位：百万円、%)

区分	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		(参考) 前事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
鋼構造物	181	100.0	13,145	100.0
橋梁	181	100.0	12,642	96.2
鉄骨・鉄構	—	—	502	3.8
合計	181	100.0	13,145	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 受注残高

(単位：百万円、%)

区分	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)		(参考) 前事業年度末 (平成21年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
鋼構造物	16,355	100.0	18,916	100.0
橋梁	16,284	99.6	18,712	98.9
鉄骨・鉄構	70	0.4	204	1.1
合計	16,355	100.0	18,916	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。